

## 令和3年度 すくすくウォッチ



©2014 大阪府もずやん

# 国語

気をつけること

1. 国語の問題は1ページから15ページまであります。算数の問題は反対側の表紙から始まり、1ページから7ページまであります。
2. かい答用紙は、国語のかい答らんの上に算数のかい答らんがあります。かい答はすべて、かい答用紙に書きましょう。
3. かい答は、HBまたはBの黒えん筆（またはシャープペンシル）を使い、こく、はっきりと書きましょう。消すときは消しゴムできれいに消しましょう。また、かい答らんからははみださないように書きましょう。
4. かい答を選ぶ問題は、かい答用紙のマークらんを下のぬりつぶしの見本のように、こく、しっかりとぬりつぶしましょう。

ぬりつぶしの見本 	悪い例     うすい 丸でかこむ 小さい 線 など
---	---

5. かい答用紙のオモテとウラ両方の「児童記入らん」に、組、出席番号を書き、オモテの「児童記入らん」のマークらんを黒くぬりつぶしましょう。
6. かい答時間のめやすは国語20分、算数20分ですが、もう少しがんばりたい人はそれぞれ3分ずつのばすことができるので、先生に伝えてください。



問題は、次のページから始まります。

① 次の文の ―― 部を、漢字に直せるものはすべて漢字を使って書き直しましょう。

子ども祭りの参加者は、いがいなことにしようがくせいいがいもおおかつた。

②

次の(1)と(2)の――部①から③の言葉のうち、まちがって使われている言葉があります。その番号をそれぞれ一つ選び、正しい言葉をひらがな一文字で書きましょう。

(1) わたしは<sup>①</sup>、お父さん<sup>②</sup>と電車<sup>③</sup>で乗りました。

番号

……

正しい言葉

……

(2) 小高い山<sup>①</sup>の上から町<sup>②</sup>に見下ろすと、海<sup>③</sup>がよく見えました。

番号

……

正しい言葉

……

③

次の(1)と(2)の文は、——部の言葉の使い方がまちがっています。それぞれの文について、——部の言葉を正しく書き直しましょう。

(1) わたしは、席をゆずったお年よりから「ありがとうございました。」と言いました。

正しい言葉 ……

(2) わたしのしょう来のゆめは、人の命をすくう医者になります。

正しい言葉 ……



**5**

次の(1)と(2)のことわざの表す意味として最もふさわしいものを、あとの**1**から**4**までの中からそれぞれ一つ選びましょう。

(1) さるも木から落ちる

- 1** 不運や不幸なことが続いて起こることがある。
- 2** どんなに良い道具でも使い方を知らなければ役に立たない。
- 3** すべてのさるは必ず木から落ちる。
- 4** 上手な人でもときには失敗することがある。

(2) ぜんは急げ

- 1** よいことだと思ったら、すぐに実行しなさい。
- 2** 予定していた計画は急いで行いなさい。
- 3** 急いでいるときほど、よい考えがうかびます。
- 4** 人に対してよいことを行くと、自分にもよいことがおこります。

⑥

次の(1)と(2)の――部の言葉が、文の中で使われている意味と反対の意味を表す言葉として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選びましょう。

(1) この箱は軽い。

1 重い

2 大きい

3 深い

4 固い

(2) 物のねだんが高い。

1 小さい

2 短い

3 安い

4 少ない

7

次の(1)と(2)の――部の言葉が指ししめす言葉として正しいものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選びましょう。

(1) 今日、わたしは駅前のお店で母にかばんを買ってもらいました。これは、前からほしかったものです。

- 1 駅前
- 2 お店
- 3 母
- 4 かばん

(2) 海にビニルぶくろをすてる人がいる。魚がそれを飲みこむと、体内にたまって命をうばうことがある。

- 1 海
- 2 ビニルぶくろ
- 3 人
- 4 魚

**8**

次の(1)と(2)の文を読んで、それぞれあとの問いに答えましょう。

- (1) 弓のように曲がった太いきばを持つ、生き物の化石が見つかった。

太いのは何ですか。次の1から4までの中から一つ選びましょう。

- 1 弓  
2 きば  
3 生き物  
4 化石

(2) わたしは、父がさつえいしたわかいころの母の写真を妹に見せた。

写真を見せたのはだれですか。次の**1**から**4**までの中から一つ選びましょう。

- 1 わたし
- 2 父
- 3 母
- 4 妹

⑨ 次の例のように、【もとの文】を、意味が変わらないように二つの文に分けて書き直すことにしました。あとの【書き直した文】の（ ）にあてはまる言葉を、例にならって書きましよう。

(例)

【もとの文】

カーテンを開けると、部屋が明るくなった。

【書き直した文】

カーテンを開けた。( )すると( )、部屋が明るくなった。

【もとの文】

天気予ほうは雨だったが、一日中晴れていた。

【書き直した文】

天気予ほうは雨だった。( )、一日中晴れていた。

10 次の例のように、【もとの文】の二つの文を、意味が変わらないように一つの文に書き直すことにしました。あとの【もとの文】を、例にならって一つの文に書き直しましょう。

(例)

【もとの文】

カーテンを開けた。すると、部屋が明るくなった。

【書き直した文】

カーテンを開けると、部屋が明るくなった。

【もとの文】

キリンの首は長い。だから、高い木の葉を食べられる。

【書き直した文】

( )。

11 次の文は、図書委員会が書いた「図書だより」の原稿の一部です。――部①から④の言葉のうち、文章を整えるには直したほうがよい言葉があります。その番号を一つ選び、書き直しましょう。

図書委員会からのお知らせです。① 今月、新しい本が図書室に入った。② 万国博らん会のれきしについての本です。③ ぜひ、借りにきてください。④

番号

……

直した後の言葉

……

12

次の(1)と(2)の文の内ようと同じ意味を表している文を、あとの**1**から**3**までの中からそれぞれ一つ選びましょう。

(1) 人間は野生動物がくらししていた森をはかいしていった。

**1** 森でくらししていた野生動物は人間によってはかいされていった。

**2** 野生動物によって人間がくらししていた森ははかいされていった。

**3** 野生動物がくらししていた森は人間によってはかいされていった。

(2) まず、切った玉ねぎとニンジンをいためます。次に、そこに肉を入れていたため、最後に調味料で味付けします。

1 玉ねぎとニンジンを切ったあとに肉をいためます。そこに玉ねぎとニンジンを入れていたため、最後に調味料で味付けします。

2 肉をいためる前に、切った玉ねぎとニンジンをいためます。そこに肉を入れていたためから、調味料で味付けします。

3 肉をいためてから、そこに切った玉ねぎとニンジンを入れていたため、最後に調味料で味付けします。

これで、国語の問題は終わりです。